

PAS 心理教育研究所 卒後研修センター
Post-Graduate Training Center for Psychotherapy

2019 年度 プログラム



理事長挨拶

結婚、育児、教育、学生、産業、病院、それぞれの相談の場で、心が止まってしまう、揺れにおののいてしまう、壊されそうになる、あるいは自分で相手を、家族をさらには自分を壊してしまいそうになる。助けが必要で得られない人々が増えている。カウンセラーやセラピスト達も例外ではない。助ける側で苦勞しているカウンセラーやセラピスト達も、目一杯苦勞している自分のことは誰もわかってくれないし助けてくれない。そんな訴えが最近は富に多い。様々な場に立ち会う混迷の時代のカウンセラー、サイコセラピストはタフでいなければならない。相談者が混乱に流されてしまい破壊に流されてしまう事態の歯止めになるために、そこからの再生を助けるために、使える力（技能）と知恵（理論）を蓄え、いつでも使えるよう常に鍛錬していなければならない。どんな知恵も実際に役立つように使えなければ、弊害にしかならない。

カウンセラーやサイコセラピストでも助けを求めたい。基礎から自分の力をつけ直したい。知恵を形にする技能を磨きたい。危急の支援を得たい。ともに研鑽する仲間が欲しい。いつでも理論と技能を磨く練習のできる道場のようなところが欲しい。PAS 卒後研修センターは、これらのニーズに応える場所です。

学生相談、教育相談、病院臨床、様々な相談活動、メンタルサポート、看護、企業リーダー支援等、困ったときには迷わず訪ねてください。卒後研修ディレクターが、道標の提供だけでなく道案内もします。同僚に会えるくつろぎの場も、研修の手引きも、研究の指導も、得られます。基本を学び、さらに専門性を高めたいと思うとき、訪ねてみるといい自己資源の財産が増えるところです。

PAS 心理教育研究所
理事長 サイコセラピスト 小谷 英文

PAS 心理教育研究所 プログラム概要

PAS 卒後研修センターでは、以下の訓練プログラムを提供しております。当センターでは毎月延べ 400 名に及ぶ専門家が自身の関心に応じて訓練を受けています。訓練期間や頻度、難易度など、多様な選択肢の中からご自分にあったプログラムをお選び頂けます。

1. プロフェッショナルスクール (P. 4)

- (1) 本科コース（毎週 9 時間～ / 3 年～）
- (2) 臨床科コース・専攻科コース（毎週 7 時間～ / 2 年～）
- (3) カウンセリング・ゼミ（1 年～）
- (4) Post-Doctral 研修・研究コース（半年～）

※ 各コースは、条件を満たす場合、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請予定です。

2. 集中専門家養成講座：基礎から徹底して学ぶ専門技法 (P. 7)

年 4 回開催される 2 日間のワークショップを通して、専門技法を基礎から学ぶことのできる短期集中訓練プログラムです。定期的に訓練時間が取れない方や、PAS の専門訓練を体験してみたい方、遠方からご参加の方、プロフェッショナルスクール入学のための下地を整えたい方におすすめです。以下の 4 つのコースをご用意しております。

- 〈第 1 領域〉 心理面接法：応答構成を基軸とした専門技法の訓練
- 〈第 2 領域〉 教育相談・学生相談：発達ベース面接法—アセスメントから心理療法展開へ—
- 〈第 3 領域〉 企業人・組織人のための組織開発プログラム—危機を活かしてチャンスに変える！—
- 〈第 4 領域〉 PAS セルフケアプログラム

※ 各領域は、条件を満たす場合、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請予定です。

3. 公開講座 (P. 12)

プロスクールに所属することなくご参加頂ける講座・ワークショップです。月 1 回、週 1 回などルーティンで開催される講座や、年 1 回のみワークショップなど、ご自身のご都合とニーズに沿ってお選びいただけます。いくつかの講座を組み合わせでご受講いただくことも可能です。

- (1) プロフェッショナルスクール セミオープンコース
- (2) 基礎講座：基礎理論と技法
- (3) 専門講座：専門技法
- (4) ワークショップ・集中演習

※ 各講座は、条件を満たす場合、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請予定です。

4. スーパーヴィジョン (P. 30)

個人・集団でのスーパーヴィジョンが受けられます。

5. 教育分析 (P. 31)

心理療法家・カウンセラーの成熟性を旨す、個人心理療法・集団精神療法です。

6. アイデンティティ・グループ (P. 33)

アイデンティティを追求する、集団精神療法の手法を応用した心理教育プログラムです。

7. 臨床心理士資格取得のための実習：第二種指定校 (P. 35)

臨床心理士資格取得のための実習の場としてご利用頂けます。

1. プロフェッショナルスクール

数年単位の継続的な訓練を通して、PAS 心理療法・精神分析的な心理療法・集団精神療法の理論・技法を学び、確実に実践できる技術・態度を習得するための訓練プログラムです。当スクールの特徴は、講義に加えて少人数クラスでの徹底した演習によって、厳しくも充実した訓練を受けることができる点にあります。バラバラな継ぎ接ぎの学習ではなく、一貫した理論背景に基づく体系的訓練を希望している方に適しています。

【PAS プロフェッショナルスクールの訓練の特色】

- ① PAS 心理教育研究所の臨床スタッフとして、実際の臨床活動に携わりながら訓練を進めます。ケースを持ち、スーパーヴィジョンを受け、臨床実践の体験から学ぶことができます。
- ② 自身の関心からプログラムを企画・運営し、技術・技法開発を進めることが可能です。また、倫理規定に則り研究活動を行なうこともできます。
- ③ 臨床スタッフ・訓練生が経験年数を問わず一同に会し、理論学習や実習を行います。毎週のグループ・スーパーヴィジョンでは、ほぼ全スタッフの事例が報告検討されます。熟練したセラピスト達と共に働き訓練することを通して、ファカルティ・レベルのセラピストの技術・態度を肌で体感しながら学ぶことができます。

(1) 本科コース（3年課程）

3年間で、精神分析的個人心理療法の技法・事例研究法・精神分析的集団心理療法の基礎技法の習得を目指すコースです。米国の Psy.D. トレーニング・プログラムに準ずるレベルの訓練を提供します。

- 訓練時間：毎週月曜 19:00 – 21:00 理論講義
毎週金曜 14:00 – 21:00 技法演習・臨床実践・スーパーヴィジョン
その他、別途定められた日程の集中研修プログラムへの参加や、PAS 心理教育研究所の開所時間内の臨床実践（インタビューや個人心理療法の担当、各種プログラムのセラピスト体験など）、公開講座への参加など。
- 授業料：年間 720,000 円（税別・分割払い可能）
*本科生は、センターで開講されるほぼ全ての公開講座を無料で受講できます。
- 修了後の進路：本科課程修了者には、修了証を発行致します。修了後は、臨床科・専攻科コースへの進学が認められます。また、研究員として PAS 心理教育研究所に所属し、引き続き臨床実践や研究に携わることができます。

(2) 臨床科・専攻科コース（2年課程）

本科課程修了者がさらなる臨床訓練を積むコースです。詳細はホームページをご覧ください。

(3) 【RENEWAL】 カウンセリング・ゼミ (1年～)

カウンセリングの理論と実践力を日々の仕事の中で磨いていくためのコースです。月1回のカウンセリング・ゼミを拠点とし、受講生各自が、自分自身のカウンセリングの理論と技法の基礎を再構築し錬磨していくための講座を履修し、マイカウンセリング研修コースを組立ています。クラスおよびゼミのなかで、日々のカウンセリングの仕事の課題と理論と技法の基礎課題を突き合わせ、理論や技法の明確化や理解の発展や修正作業をゼミで重ねて、年間のコース目標を達成していきます。なお、各研修生には専属のメンターがつき、必要に応じて訓練課題の明確化や研修計画の立案、都度の成果確認などを助けます。

○主任講師：小谷英文

○メンター：研究所ファカルティ

○訓練時間：適宜（個々の研修計画による。主に、月1回（原則第4水曜夜）のゼミと選択した公開講座の開講時間）

○研修費：360,000円（税別）

○受講可能コース：公開講座のうち（1）プロフェッショナルスクール セミオープン講座、（2）基礎講座、（3）専門講座の各講座。講座数の上限なく受講可能。

○訓練期間：1年ごとの在籍更新

○定員：10名

○応募資格：

1. 心理療法関連領域の修士の学位を有するもの。
もしくは、大学で心理学その他公認心理師となるために必要な科目を修めて卒業し、2年以上心理に関する実務経験があるもの。
2. 月1回（原則、毎月第4水曜 19:00～21:00）のゼミに参加できるもの。

○選考手続き：書類審査および面接審査

○その他の特典

1. 成果に応じて、研究所プログラムへの研修生としての参加、プロフェッショナルスクールのスーパーヴィジョン陪席を認める。
2. 研究所所蔵図書の無料貸し出し。

※カウンセリング・ゼミの詳細は別紙パンフレットおよびホームページをご覧ください。

(4) Post-Doctral 研修・研究コース（半年～）

心理療法関連領域の学位（博士）を有し、その領域において実践・研究の実績を積んだ者が、精神分析的システムズ心理療法の技法習得、あるいは特定の研究を遂行するためのコースです。本科および卒後研修センターで開講される科目を自由に選択履修し、指導ファカルティによるスーパーヴィジョンのもと年間研修計画もしくは研究目標を定めて、研修・研究を進めます。

- 研修費：年間 720,000 円（税別）
- 期間：研修・研究目標の達成まで。1年ごとに在籍更新とする。遠方や海外居住などの事情により、半年単位の在籍も認める。
- 半期の研修費：360,000 円（税別）
- 応募資格：
 1. 心理療法関連領域の学位（文学博士、心理学博士、医学博士、教育学博士、Ph.D.、Psy.D. など）を有すること。
 2. 心理療法関連の臨床実務経験を5年以上有すること。
 3. 学術業績レフェリー付オリジナル論文を5点以上有すること。テキスト以外の専門単著は、レフェリー付きオリジナル論文3点とみなす。

2020 年度入学者選考日程

	本科	カウンセリング ゼミ	Post-Doctral
(1) 書類選考：応募締切	2019年10月末日	2020年2月末日	2020年2月末日
(2) 選考試験			
①筆記試験	2019年11月9日(土)		
②グループ体験（アイデンティティグループ参加）	2019年11月16日(土) － 17日(日)		
(3) 面接試験（審査）	2019年11月22日(金)	書類選考後、随時	書類選考後、随時

より詳しい訓練内容や選考手順に関しては、ホームページの募集要項をご覧ください。訓練内容など詳しくお知りになりたい場合は、お気軽に当センターまでお問い合わせ下さい。

2. 集中専門家養成講座：基礎から徹底して学ぶ専門技法

集中演習の形でスクーリングを行い、心理、教育、医療診療など各領域における専門技法のトレーニングを提供するプログラムです。

今年度の講座は、各4領域の基本を徹底して習得するトレーニングコースです。大学院卒業後まもない初心の臨床家や、基礎からもう一度自身の臨床を見直したいベテランまで、理論と技術の基盤を固め、自身の臨床の専門性を高めるためのプログラムです。

第1回：2019/6/29（土）- 6/30（日）

第2回：2019/9/28（土）- 9/29（日）

第3回：2019/12/7（土）- 12/8（日）

第4回：2020/3/14（土）- 3/15（日）

1日目：10:00-17:00 2日目：9:30-16:30

- * 各回の参加も可能ですが、4回全て参加することでより体系的な訓練を重ねることができます。
- * 各回の詳細な授業内容をホームページでご覧頂けます。
- * 受講料は分割払いが可能です。ご相談ください。
- * 各講座は、条件を満たす場合、臨床心理士資格認定協会研修ポイントの申請予定です。

<第1領域>心理面接法：応答構成を基軸とした専門技法の訓練

講師：能 幸夫・吉田 愛

○ コース目標：「心理面接法：応答構成を基軸とした専門技法の訓練」は、応答構成を基軸とした心理面接法の技法ワークショップです。インテーク面接から初動過程、初期過程から展開過程、展開過程からワークスルー、ワークスルー過程から終結過程という心理療法の過程展開を縦軸に、ロールプレイ演習による広がりを横軸として、心理面接法の技法をスキルアップしていくことが目的です。訓練としての応答構成にはPAS心理療法のエッセンスが詰まっています。参加者各自の訓練目標に基づいて、技法演習を重ねながら、目標・課題の克服を目指します。

* 応答構成とは、実際の臨床場面から取り出したクライアントの発言に対してセラピストやカウンセラーがどのように自分の応答を形成していくかを、時間を止めて検討していく、対話を軸とした心理面接の基本訓練です。

○ コース内容：心理療法はクライアントの精神内世界を探求し、自己理解と再構成を目指す処方です。心理療法を理解すれば、ガイダンス・コンサルテーション、カウンセリングといった心理面接の理解は格段に豊かになります。心理面接の総合としての心理療法のインテークから終結過程までの技法を、応答構成を基軸に、ロールプレイ演習を交えて理解し、自分のものにしていきます。理論講義として各過程のプロセス課題を確認したうえで、応答構成を行い、そこで挙げられた応答を軸にロールプレイ演習を行って介入技法を精錬化していきます。

各回の内容は以下の通りです。

第1回：心理療法のインテーク面接から初動過程へ

- 1) インテーク面接概論
- 2) グランドメトリックスの敷設技法
- 3) インテーク始動面接
- 4) インテーク統合面接と初期契約

第2回：心理療法初期過程から展開過程へ

- 1) 心理療法初期過程概論

- 2) 心理療法装置の形成；心的安全空間生成技法
- 3) 作業同盟と初期抵抗
- 4) 抵抗分析技法

第3回：心理療法展開過程からワークスルー過程へ

- 1) 心理療法展開過程概論
- 2) 治療目標の探索と治療同盟
- 3) 自己探求メトリックスの活性化
- 4) 転移分析技法

第4回：心理療法ワークスルー過程から終結過程

- 1) ワークスルーと終結過程概論
- 2) 中核葛藤と再構成力動
- 3) 終結過程技法

○ 対象：初心から、中堅、ベテランまで、現任の臨床心理士を対象とする。現在、心理療法を行っていないものでも、将来的に心理療法の実践に関心があれば参加を認める。

常勤職など日常的に訓練の時間を多くは割けない人、出産・育児等で臨床を離れていた人など、集中ワークショップによって心理療法全体の理論・技法を身に着けたいと考えている臨床家には最適のプログラムである。

○ 受講料：1回 40,000円（税別） 4回パック 128,000円（税別・2割引）

○ 定員：10名

<第2領域>教育相談・学生相談 発達ベースの面接法ーアセスメントから心理療法展開へー

○ 講師：橋本 和典・高田 毅

○ コース目標：問題や主訴に深く絡まる人格の発達課題（developmental tasks）や成果を的確に捉え査定し、発達を促進していく面接法が、現代の子ども・青年期臨床には欠かせない。これを、「発達ベース面接法」と名付けている。この基礎理論と技法を基礎から習得することを目的とする。

○ コース内容：

第1回：インテーク面接法と発達課題査定

電話受付、インテーク面接の進め方の基本技法と、はじめのアセスメント（特に、発達課題査定）の基本枠組みを学ぶ。

第2回：はじめの契約と発達課題査定による作業課題の共有

インテークから次の面接展開へ進むためにはじめの契約についての基本技法を学ぶ。契約に必要な作業課題およびプラン設定（何の目的のために具体的に何に取り組むのか）の基本技法を習得する。

第3回：発達ベース面接法の進め方

発達ベースの面接法ー発達課題に即した作業課題の同定、遂行、達成の具体的なイメージをつかむ。また、発達ベース面接法を進めていくための困難場面の査定と臨床対応技術について習熟する。

第4回：中核葛藤（core conflict）の査定と心理療法への展開

子ども・青年が普通の発達ラインに戻ることを越えて、さらなる創造的な発達変化の可能性、必要性がクライアントとの間で確認された時、本格的な心理療法がはじまる。その展開の鍵となる「中核葛藤」の理解・分析のための基本技法について習熟する。

○ 対象：教育相談・スクールカウンセリング、学生相談に従事している専門家。また、病院、学校、司法などのあらゆる領域や職種、資格を越えて思春期・青年期臨床に関心のある専門家や大学院生も受講可能である。

青年期臨床のスペシャリスト、あるいはその領域の指導者／トレーナーを目指す方、また、パーソナリティ査定のカギとなる人格発達課題査定に関心のある方に特に勧める。

○ 受講料：1回 40,000円（税別） 4回パック 128,000円（税別・2割引）

○ 定員：10名

<第3領域>企業人・組織人のための組織開発プログラム

－危機を活かしてチャンスに変える！－

○ 講師：中村 有希・花井 俊紀

○ コース目標：

- 1) 自分に起きる危機への対処の基本をつかむ。
- 2) 所属する組織・チームの「危機マップ」を描き、組織・チーム内の力学を可視化することができる。
- 3) 危機打破の分岐点を捉え、生産的転回に向けて自らが行動を起こすことができる。

○ コース内容：

本講座は、自分の所属するチーム、企業・組織とそのメンバーを活性化し元気にするために、“私”が個人や集団、組織に働きかけられるようになることを目的とした講座である。そのためには、個人および組織・チームに生じている「力学Dynamics」を読み取り、その力学を用いることで、より生産的なエネルギー使用への展開を引き起こすノウハウが必要である。本講座では、危機の力動、集団がもつ生産的・非生産的力動を読み取る知識および手順と、自らが危機に介入することができる実践力を身につける。毎回、参加者各自の事例を持ち寄り、演習形式で進める。講義は各事例に基づき適宜行うものとする。自分自身、そして同僚、部下、上司、チームメイトがうつを脱し、彼らのネットワークング・アビリティを高め、クリエイティブな仕事ができるようになる。

○ テキスト：小谷英文著「ダイナミック・コーチング」PAS 出版部

○ 対象：企業のチーム長、企業リーダー、企業人、臨床心理士、研修担当の教員等、会社の生産性を上げたい方、組織内での自身の生産性を上げたい方、現在、個人及び組織の危機の打破を図りたいと考えている方。

○ 受講料：法人 1回 50,000円（税別） パック 160,000円（税別・2割引）
個人 1回 40,000円（税別） パック 128,000円（税別・2割引）

○ 定員：8名

<第4領域> PAS セルフケアプログラム

○ 講師・トレーナー：小谷 英文

○ コース目標：オレム－アンダーウッドモデルによるセルフケアプログラムから、セルフケア能力を発達させる PAS セルフケアセラピーへの展開に至る基本能力を身につける。

○ コース内容：

第1回：PAS セルフケアセラピーの基本：危機介入とセラグノーシス

- ・PAS セルフケアセラピー全体の理論と基本軸の理解
- ・危機介入の技法構造と介入技術
- ・セラグノーシスの基本技術
- ・事例研究の始め方

第2回：患者の主訴とアセスメント

- ・力動的な主訴聴取の技術構成
- ・アセスメントの力動的構造化
- ・セルフケアプログラムの始め方
- ・事例研究のデザイン

第3回：セルフケアプログラムからセルフケアセラピーへの展開

- ・セルフケアプログラムの結果
- ・成果の力動的評価
- ・セルフケアプログラムの事例研究
- ・セルフケアセラピーの始め方

第4回：セルフケアセラピーの展開と評価

- ・セルフケアセラピーの展開技法
- ・セルフケアセラピーの評価
- ・セルフケアセラピーの事例研究

○ テキスト：小谷・宇佐美, 2018. PAS セルフケアセラピー. PAS 出版部

○ 対象：精神看護師、APN、CNS、指導教授の推薦のある臨床経験3年以上の大学院生

○ 受講料：200,000 円（1回 50,000 円×4回・税別） 分割払い可。お問い合わせ下さい。

○ 定員：24 名

3. 公開講座：2019 年度開講講座一覧

プロフェッショナルスクール セミオープンコース					
No.	回数	曜日	時間	タイトル	講師
190-1	6回 ×3期	第1・4月曜	19:00 - 21:00	心理療法過程論	能 幸夫
190-2	9回	第2月曜	19:00 - 21:00	人格発達理論	中村有希・ 能幸夫
190-3	9回	第3月曜	19:00 - 21:00	精神分析的システムズ心理療法基礎	花井俊紀・ 能幸夫

基礎講座：基礎理論と技法					
No.	回数	曜日	時間	タイトル	講師
191-1	10回	第2土曜	10:30 - 12:30	不安相談：心理面接の基本技法	小谷 英文
191-2	10回	第2土曜	15:15 - 17:15	一から学ぶ - カウンセリングとサイコセラピーへの道	小谷 英文
191-3	10回	第4木曜	19:00 - 21:00	心理面接法ロールプレイ演習Ⅰ：力動的面接法の基礎	小谷 英文・ 中村 有希
191-4	11回	第2木曜	19:00 - 21:00	心理面接法ロールプレイ演習Ⅱ：介入分析法	小谷 英文・ 中村 有希
191-5	8回	第3月曜	19:00 - 21:00	アセスメント実習	小谷 英文
191-6	10回	第4月曜	19:00 - 21:00	アセスメント面接技法	小谷 英文
191-7	10回	第2木曜	19:30 - 21:00	インテーク面接とはじめの見立て	能 幸夫
191-8	6回	日曜	9:30 - 17:15	対人援助職のための応答構成法	能 幸夫 他
191-9	10回	第3土曜	15:15 - 17:15	病院心理面接法	能 幸夫
191-10	10回 ×3期	火曜	19:00 - 21:00	青年期臨床セミナー—教育相談・スクールカウンセリング・ 学生相談の臨床スキルアップ—	橋本 和典
191-11	10回	第4土曜	13:00 - 15:00	基本図書講読	中村 有希
191-12	8回	第4土曜	13:00 - 15:00	ハイリスク・ケア困難患者・家族への力動的セルフケアプログラム	宇佐美 しおり
191-13	8回	第4土曜	15:15 - 17:15	組織における役割開発とリーダーシップ、スタッフ教育技法	宇佐美 しおり
191-14	8回	第4土曜	10:30 - 12:30	精神看護ベーシック—疾患・状態別セルフケアプログラム —地域生活維持・促進—	宇佐美 しおり

専門講座：専門技法

No.	回数	曜日	時間	タイトル	講師
192-1	10回	第2土曜	13:00 - 15:00	危機介入と組織開発	小谷 英文
192-2	10回	第4木曜	19:30 - 21:00	Freud 文献講読講座 第IV期	小谷 英文
192-3	10回	第3土曜	10:30 - 12:30	SET トレーナー養成講座 アドバンスコース	中村 有希
192-4	5回	第2土曜	13:00 - 17:15	Story Making Group ファシリテーター養成講座	花井 俊紀
192-5	10回	第3土曜	13:00 - 17:15	Story Making Group コ・リーダー養成講座	花井 俊紀
192-6	8回	第2土曜	13:00 - 17:15	Story Making Group リーダー・トレーナー養成講座	花井 俊紀

ワークショップ・集中演習

No.	回数	日程	時間	タイトル	講師
19-1	年2回	8/3, 2020/1/18	10:00 - 17:00	集団精神療法集中演習	小谷 英文
19-2	年1回	2020/2/29	10:00 - 17:00	PAS 技法集中演習	小谷 英文
19-3	年2回	9/7, 2020/3/7	10:00 - 18:00	不安相談1日ワークショップ	小谷 英文 他 トレーナー
19-4	年5回	5/12, 7/7, 9/8, 11/10, 2020/1/12	9:30 - 17:15	応答構成入門—共感的理解のための実践演習	能 幸夫 他
19-5	年1回	7/21	9:30 - 16:30	インテーク面接入門ワークショップ	能 幸夫・ 花井 俊紀
19-6	年3回	2020/1/25, 2/8, 2/22	15:30 - 17:30	Story Making Group 体験スタートパック	花井 俊紀

プロフェッショナルスクール セミオープン講座

PAS 心理教育研究所プロフェッショナルスクールの 2019 年度理論コースのテーマは心理療法過程論と精神分析的発達理論である。この二つのテーマに、小谷英文著『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』(2018)より、「第 2 章 人の変化と不変」、「第 3 章 人格システム」、「第 4 章 人が変わる力」の人格変化に関わる三つの章の理解を進める基礎講義を組み込み、2019 年度の理論コースは構成される。

コース No. 190-1 心理療法過程論

心理療法過程論

心理療法過程論は、精神分析理論における総合的な理論である。基礎としての心理力動論を置いて、1) クライアントの自己理解の営みを助けていくセラピストの仕事としての技法論と、2) 精神病理理論と発達理論によるクライアントの問題とその変化の起点となるベースラインの理解およびアセスメント、そしてこの 1) と 2) の掛け合わせとしての総合的な営みの展開が心理療法過程を構成していくからである。

この総合的な理論としての PAS 心理療法過程論を学んでいこう。

講師：能幸夫

単位：0.6 単位×3 期

コース目標：

PAS 理論による心理療法過程の展開力動を理論的に学んでいく。講義と講義に基づいたディスカッションを通じて、概念定義を明確化し、各位相のプロセス課題の理解に基づくセラピストの仕事に関して理解を深める。

受講資格：心理療法、カウンセリング等、臨床歴 3 年以上

テキスト：

『心理療法過程論—精神分析的システムズ理論による統合的過程論—』(配布予定)

『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

対象：プロフェッショナルスクール理論コースのオープンクラスなので、本科生を基準に講義する。その講義を活用できることが受講条件となる。

料金：各期 48,000 円 (税別)

定員：各期 10 名

第 I 期：起動過程・初期過程力動論；セラピー契約から自由連想的発話まで

コース内容：

心理療法過程論 I では、心理療法過程論総論によって全体の地図を押さえ、心的安全空間としての心理療法装置とその構成要素を確認した上で、心理療法起動過程論と初期過程力動の前半までを理解する。各回の講義予定は以下のとおり。

- 1) 心理療法過程論総論
- 2) 心理療法装置概論
- 3) 心理療法起動過程力動論 I：インテーク始動面接
- 4) 心理療法起動過程力動論 II：インテーク統合面接
- 5) 心理療法初期過程力動論 I：自由連想過程の始まり
- 6) 心理療法初期過程力動論 II：初期抵抗力動

日程：原則、祝日を除く第 1、第 4 月曜 19:00-21:00 全 6 回
4/1, 4/22, 5/27, 6/3, 6/24, 7/1 (7 月第 4 週は休み)

第 II 期：初期過程・中核過程力動論；自由連想的発話の展開

コース内容：

心理療法過程論 II では、I に引き続き、初期過程力動の後半から中核過程力動の前半までを理解することが目的である。ここでは、初期アセスメントとしてのベースラインの定式化に関しても学ぶ。各回の講義予定は以下のとおり。

- 1) 初期過程力動論 III：同盟形成
- 2) 初期過程力動論 IV：治療目標構成
- 3) 初期アセスメント：ベースラインの定式化
- 4) 中核過程力動論 I：主体的自我自律性と自己探求メトリックス
- 5) 中核過程力動論 II：抵抗／逆抵抗力動
- 6) 中核過程力動論 III：転移分析力動

日程：原則、祝日を除く第 1、第 4 月曜 19:00-21:00 全 6 回
9/2, 9/30, 10/7, 10/28, 11/25, 12/2(9 月第 5 月曜日を含む)

第 III 期：中核過程・終結過程力動論；自由連想—自己分析展開から終結まで

コース内容：

心理療法過程論 III では、II に引き続き、中核過程力動の後半から終結過程力動を理解することが目的である。さらに、

心理療法過程全般を通じて意味があるケースマネジメントの基礎についても学ぶ。各回の講義予定は以下のとおり。

- 1) 中核葛藤アセスメント：エディプス／トラウマの再構成
- 2) 中核過程力動論Ⅳ：再構成過程力動
- 3) 中核過程力動論Ⅴ：ワークスルー力動
- 4) 終結過程力動論Ⅰ：再生自己の内在化過程
- 5) 終結過程力動論Ⅱ：別れのワークスルー過程
- 6) ケースマネジメント

日程：原則、祝日を除く第1、第4月曜 19:00-21:00 全6回
2020/1/6, 1/27, 2/3, 2/24, 3/2, 3/23

コース No. 190-2

人格発達理論

講師：中村有希・能幸夫

単位：1単位

コース目標：

精神分析的システムズ心理療法の基礎理論のひとつである精神分析的発達理論を学ぶ。

コース内容：

本講座は、小谷英文著「精神分析的システムズ心理療法—人は変われる—」の第5章「発達の力」の理解を進める講座である。受講生は、毎回、事前にテキストを熟読の上、参加のこと。『190-3 精神分析的システムズ心理療法基礎』との並行受講が望ましい。

- 4月) 精神性的発達：臨床発達理論の概観 (p.73-97)
- 5月) 乳幼児期の発達①(口唇期)：Mahlerの分離個体化Ⅰ (p.97-135)
- 6月) 乳幼児期の発達②(肛門期)：Mahlerの分離個体化Ⅱ (p.135-149)
- 7月) 乳幼児期の発達③(男根期・エディプス期)：Kernbergの発達理論 (p.149-153)
- 9月) 潜伏期・前思春期の発達 (p.153-162)
- 11月) 思春期・青年期の発達 (p.162-175)
- 12月) 成人期の発達 (p.175-179)
- 2月) 老年期の発達 (p.179-180)
- 3月) 臨床発達理論のまとめ

受講資格：心理療法、カウンセリング等、臨床歴3年以上とする。

対象：精神分析的システムズ心理療法を学びたい人。本講座はプロフェッショナルスクール理論コースのオープンクラスであるため、本科生を基準に講義する。その講義を活用できることが受講条件となる。

日程：第2月曜 19:00-21:00 全9回
4/8, 5/13, 6/10, 7/8, 9/9, 11/11, 12/9, 2020/2/10, 3/9

料金：72,000円(税別)

定員：10名

コース No. 190-3

精神分析的システムズ心理療法基礎

講師：花井俊紀・能幸夫

単位：1単位

コース目標：

精神分析的システムズ心理療法の基本理論を理解すること。

コース内容：

本講座は、小谷英文著「精神分析的システムズ心理療法—人は変われる—」の第2章・第3章の理解を進める講座である。受講生は、毎回、事前にテキストを熟読の上で参加のこと。講座では、テキストを読み上げ、読み流すのではなく一文一文一項目一項目止まりながら、理論の理解をpushしていく。

<第2章：p13-22>

4月) 変化の二態・変化と不変の力学①：ストレス症候／発達図式

5月) 変化と不変の力学②：ストレス症候／発達図式・快感原則と現実原則

6月) 変化と不変の力学②：ストレス症候／発達図式・変化の二原理

<第3章：p23-45>

10月) メタ心理学視座

11月) システムズ理論視座

12月) 人格システム機能の可視化：個人内欲動エネルギー展開図

1月) 変化の基軸となる自我機能

2月) 自我と自己

3月) 性格

受講資格：特になし。

対象：精神分析的システムズ心理療法を学びたい人。PASの基礎講座・専門講座で学ぶ方で、各講座で使われる理論・用語などについて基本的な理解をpushしておきたい方に特に有益である。なお、本講座はプロフェッショナルスクール理論コースのオープンクラスであるため、本科生を基準に講義する。その講義を活用できることが受講条件となる。

日程：第3月曜 19:00-21:00 全9回

4/15, 5/20, 6/17, 10/21, 11/18, 12/16, 2020/1/20, 2/17, 3/16

料金：72,000円(税別)

定員：10名

コース No. 191-1

不安相談：心理面接の基本技法

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

全ての心理面接、学生相談、カウンセリング及び心理療法において、常にその始まりと展開の基点となる『不安』の力動を理解し面接を組み立てる基本理論と技法を学ぶ。

コース内容：

1. 面接の始まり、プロセスの転回点となる『不安』を取り出す技法
2. クライアントの『不安』に安全空間を供与する技法
3. 現実不安と神経症不安を分ける技法
4. 現実不安を治めレジリエンスを高める自我機能をあげる不安相談展開への道筋

受講資格：カウンセリング／心理療法の実践に携わり、自験例のあること。

対象：臨床心理士、スクールカウンセラー、ソーシャルワーカー、CNS、教師

日程：第2土曜 10:30-12:30 全10回
4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14,
2020/1/11, 2/8

料金：80,000 円（税別）

定員：15 名

コース No. 191-2

一から学ぶ - カウンセリングとサイコセラピーへの道

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

カウンセリングおよびサイコセラピーは、科学することとその成果を実践する職業 Scientist-Practitioner である。科学職人と言うことにしよう。ということはカウンセリングもサイコセラピーも日進月歩の仕事であり、職人は先端技術を駆使するためには常に基礎技術を磨いておかなければならないことになる。このコースでは、常にカウンセリングとサイコセラピーの基礎を洗い直し、学びなおし、最先端の技術につないでいく展開を年々歳々に追求していく。

初心者でベシクから学ぶ者も、ヴェテランで最先端を学び磨く者も、カウンセリングとサイコセラピーを科学し職人

技を磨く終わることのない道を楽しんでたどることが本コースの目的であり、そこにある受講者個人固有の目標達成を図るものである。

コース内容：

実践の中にある心の研究がカウンセリングであり、サイコセラピーである。カウンセリングとサイコセラピーの営みにおける作業主体はクライアントであるが、カウンセラー／セラピストはその協働作業の中でクライアントの心を理解する科学と実践の事例研究をする。クライアントはその協働の営みの中に、科学の目を得ると同時に自身の実存を共にする場と相手を得るのである。そのダイナミックなカウンセリングとサイコセラピーの基本を、以下の基軸をもって学び直していく。受講者は相互の内密性厳守のもと、自験事例を提供することによって随時スーパーヴィジョンを受けることができる。

- 1) 心の変化の理論；機能水準の基準となる神経症水準の理解とアセスメント、2) アセスメントのための面接法；観察法、介入分析法
- 3) アセスメントの構成法；自我機能、人格構造機能水準、パーソナリティ
- 4) 防衛と適応、異常－正常－創造性のスペクトラム
- 5) 心理面接構成展開法

内容は提供事例によって変わるが、どのような事例に対しても基本学習の軸を押さえて進める。

クラスの進め方

- 1) 20分 困ったケースの理解と次の一手（ミニスーパーヴィジョン）
- 2) 40分 演習による心理面接法の技術と理論の理解
- 3) 5分 休憩
- 4) 15分 面白いケース、関心のあるケースのアセスメント
- 5) 40分 講義による理解の体系化

テキスト：『精神分析的システムズ心理療法－人は変われる－』

受講資格：臨床心理士、精神科医、精神看護師、カウンセラー、産業カウンセラー、教師、他これらの職種に匹敵するメンタルヘルスプロおよびそれらの専門を専攻する大学院生

対象：大学院や学会等の講習会で勉強はしたが、実践的・体験的な習得の指導は受けたことがない人、臨床経験は重ねてきたがアセスメント・面接法の基本が確かではないので、それらの能力を体系化しブラッシュアップしたい人、全く基礎から学びたい人、そして意欲のある人、スーパーヴィジョンを求めている臨床家。

日程：第2土曜 15:15～17:15 全10回
4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14,

2020/1/11, 2/8

※ 4/13 と 2/8 は特別プログラムとして「192-1 危機介入と組織開発」との合同クラスとなります。詳細は後日お知らせします。

料金：80,000 円（税別）

定員：20 名

コース No. 191-3

心理面接法ロールプレイ演習Ⅰ：力動的面接法の基礎

講師：小谷英文・中村有希

単位：1 単位

コース目標：

アセスメント、面接開始、面接展開、安全空間、関係形成、転移関係、危機対応、クライアント感情（怒り、甘え、悲嘆、拒絶、等々）、自己感情（脅威、怒り、喜び、哀しみ）に対応する力動的面接基礎技術の習得。

コース内容：

面接技術とクライアントの力動理解をインシデント分析法によって学ぶ。

1. 実践自験例をロールプレイによって再演し、力動的理解と面接技術を確認する
2. 力動的面接法の基礎技術を用いて、理解と面接展開を進める演習をする
3. 学んだ面接技術を特定化し、技法構成を学ぶ

※「不安相談 1 日ワークショップ」（9/7・2020/3/7 のいずれか）に参加し、基礎理論および技術の確認をする。

テキスト：『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

受講資格：心理面接を日々実践していること、すなわち心理面接自験例のあること。

対象：大学院生からヴェテランまで力動的面接の実践技術を体系的に身につけたい人の基礎コースである。職種を問わない。

日程：第 4 木曜 19:00-21:00 全 10 回

4/25, 5/23, 6/27, 7/25, 9/26, 10/24, 11/28, 2020/1/23, 2/27, 3/26

料金：10,000 円（税別）

※「19-3 不安相談ワークショップ」（1 回分）参加費込み

定員：20 名

コース No. 191-4

心理面接法ロールプレイ演習Ⅱ：介入分析法

講師：小谷英文・中村有希

単位：1 単位

コース目標：

面接展開で自分が詰まった所、あるいはあとで失敗したと思った所の力動理解を起点に面接展開を進めることを、実践的に学ぶ。

コース内容：

面接が詰まる所は、面接の力動展開の意味ある情報が多様に詰まっているノーダルポイントという。そこに詰まっている情報を解し、その場を生産的作業の場に変えるのが介入分析法である。これを『191-3 心理面接法ロールプレイ演習Ⅰ：力動的面接法の基礎』の手順に同じく演習、随時の技術講義によって習得する。

テキスト：『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

受講資格：心理面接を日々実践していること、すなわち心理面接自験例のあること。

対象：大学院生からヴェテランまで力動的面接の実践技術を体系的に身につけたい人の基礎コースである。職種を問わない。

日程：第 2 木曜 19:00-21:00 全 11 回

4/11, 5/9, 7/11, 8/8, 9/12, 10/10, 11/14, 12/12, 2020/1/9, 2/13, 3/12

料金：88,000 円（税別）

定員：20 名

コース No. 191-5

アセスメント実習

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

面接資料によるアセスメントの基本能力を身につける。インテーク時、契約時、面接展開の機序、面接膠着状態の抵抗、等々、心理面接を進めていく上で必要なアセスメントの手順と理論を、自分自身の事例を起点に学ぶ。

コース内容：

以下の力動的アセスメントができるようになるまで、それぞれの演習事例を持って分析能力を積み上げていく。

1. 防衛と表現
2. 抵抗とレジリエンス
3. 自我発達
4. 三分論力動

5. 中核葛藤力動

テキスト：『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

受講資格：カウンセリング、心理面接実践事例を有し、力動的アセスメントの実践能力を身につける意志のあること

対象：大学院生からヴェテランまで、職種を問わない。

日程：第3月曜日 19:00-21:00 全8回

4/15, 5/20, 10/21, 11/18, 12/16, 2020/1/20, 2/17, 3/16

料金：64,000円（税別）

定員：20名

コース No. 191-6 アセスメント面接技法

講師：小谷英文

単位：1単位

コース目標：

心理面接によってアセスメントをする実践能力を基本から身につける。

コース内容：

自分自身の事例を自らロールプレイによって面接展開を再現し、面接展開技術とアセスメントの手順を学ぶ。

1. インテーク面接におけるアセスメントの組み立て
2. カウンセリングを始めるにあたっての面接展開アセスメント
3. 心理療法契約にあたっての面接アセスメント
4. 詰まった時の面接アセスメント

テキスト：『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

受講資格：心理面接を日々実践していること、すなわち心理面接自験例のあること。

対象：大学院生からヴェテランまで力動的面接の実践技術を体系的に身につけたい人の基礎コースである。職種を問わない。

日程：第4月曜 19:00-21:00 全10回

4/22, 5/27, 6/24, 7/22, 9/30, 10/28, 11/25, 2020/1/27, 2/24, 3/23

料金：80,000円（税別）

定員：20名

コース No. 191-7 インテーク面接とはじめの見立て

講師：能幸夫

単位：1単位

コース目標：

First Contact の電話受付から始まるインテーク面接の基本を学ぶ・インテーク面接を通じたはじめの見立て（ベースライン査定）を理解する。

コース内容：

講義とロールプレイ演習を通じて、

- 1) 電話相談、インテーク面接の理論と技法について習熟する。
- 2) ベースライン査定の基本枠組みについて習熟する（PAS理論による査定）。
- 3) 臨床的態度の本質をつかむ。

テキスト：

『ガイダンスとカウンセリング』

『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

『PASセルフケアセラピー』

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）。

初心からベテランまで。特に、現場に出たばかりの初心の専門家を歓迎する。

日程：第2木曜 19:30-21:00 全10回

及び 7/21（日）の『19-5 インテーク面接入門ワークショップ』（9:30-16:30）

4/11, 5/9, 6/13, 7/11, 7/21(workshop), 9/12 10/10, 11/14, 12/12, 2020/1/9, 2/13

料金：70,000円（税別） *ワークショップ参加費込み

定員：8名内外

コース No. 191-8 対人援助職のための応答構成法

講師：能幸夫 他

単位：2単位

コース目標：

面接場面でどのようにクライアントに反応し、答えているのか、自分の特徴をつかみ、自身の応答の幅を広げ、精錬していくこと。

コース内容：

応答構成とは、心理面接のある重要な場面を取り出し、臨床家としてクライアントの具体的な発言に対してどう応えていくか、自分の、「考えと認知」(P)、「気持ちや感情」(E)、「行動」(A)とクライアントの、「考えと認知」(P)、「気持ちや感情」(E)、「行動」(A)を識別し、自分のクライアントへの働きかけ、声かけを、自分らしくできるようにするための訓練プログラムである。

- 1) 「サイコセラピー応答構成抜粋シリーズ」の16抜粋（思春期女子と中年期男性の心理療法から取り出した臨床場面の抜粋）に取り組む。
- 2) 自分の応答構成の特徴をつかむ。

- 3) 仲間の刺激を活かし、自分も仲間に刺激を与えながら、ともに、臨床家としての自分の応答を精錬する。
- 4) 応答構成法を通じて、PAS サイコセラピの展開過程を理解していく。

テキスト：

『心理面接—安全空間創成の面接法—』第1章、第8章（配布）

対象：現任臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなどの対人援助専門職）および臨床家をを目指す大学院生。

サイコセラピ応答構成抜粋を用いるが、心理療法を行っている、いないに関わらず、参加は可能。特に、現時点で行っていないが、心理療法に関心がある人は歓迎する。

日程：奇数月・第2日曜 9:30-17:15

5/12, 7/7, 9/8, 11/10, 2020/1/12, 2/9（2月のみ偶数月）

料金：80,000円（税別）

定員：5名内外

コース No. 191-9

病院心理面接法

講師：能幸夫

単位：1単位

コース目標：

病院・クリニックといった多職種協働の臨床環境における心理面接の基本を、多職種連携のチーム力動、対象患者・クライアントの特徴、介入の組み立ての視点から学ぶ。

コース内容：

- 1) 多職種によるチーム力動に関して、グループダイナミックスの観点から整理していく。
- 2) 患者からクライアントへとなる対象者のダイナミックスを整理する。
- 3) 精神医学的診断と力動的査定の違いを確認する。
- 4) 心理面接の組み立てに関して、力動的支持的心理療法とセルフケアの観点から学んでいく。
- 5) PAS 心理療法の独自の『メイトリックス理論』を基軸に、心的安全空間の生成、自我機能と自己空間の関係力動、自己フィードバック機能の覚醒のための介入ソフトなどの基礎技法を理解していく。

テキスト：

『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

『PAS セルフケアセラピ』

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）。

現在、病院・クリニック等の医療機関に所属してなくても、病院臨床に関心のある臨床家も対象として歓迎する。

日程：第3土曜 15:15-17:15 全10回

4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21,

2020/2/15, 3/21（8月、1月は休み）

料金：80,000円（税別）

定員：5名内外

コース No. 191-10

青年期臨床セミナー

—教育相談・スクールカウンセリング・学生相談の臨床スキルアップ—

講師：橋本和典

単位：1単位×3期

コース目標：

思春期から青年期のクライアントの的確なアセスメント能力を高めることと、臨床対応のスキルアップを目的とします。特に、教育相談、SC、学生相談における困難場面を乗り越えるための査定と介入の基本を身に付けることを狙います。

コース内容：

クライアントの持っているポジティブに発達させている能力と、問題に深く絡む発達課題についてのアセスメントが2019年度のテーマである。各回2時間×10回を1期とした、3期制。具体的には、以下を予定している。

①春学期：3歳までの発達

- 1) 発達査定的基础
- 2) 正常自閉位相
- 3) 共生位相
- 4) 分離—個体化位相

②秋学期：3歳～6歳までの発達

- 1) インシデント査定
- 2) 男根位相
- 3) エディプス位相

③冬学期：7歳～青年期まで

- 1) セラグノーシス査定
- 2) 潜伏期位相
- 3) 思春期位相
- 4) 青年期位相

クラスは、毎回1時間の講義と、1時間の事例査定演習で構成される。事例アセスメントは、発達課題査定とともに、そこからのカウンセリング・心理療法計画（ケース・フォーミュレーション）ができるようになることを目指す。受講者は、自験例を提示することが求められる（ケースを担当していない方は、講師に相談の上、受講可能とする）。

対象：青年期を対象とする臨床家をを目指す大学院生も受講可能である。

日程：毎週火曜日 19:00-21:00 全10回×3期制

春学期 4/9, 4/16, 4/23, 5/7, 5/14, 5/21, 5/28, 6/4,

6/11, 6/18

秋学期 9/10, 9/17, 9/24, 10/1, 10/8, 10/15, 10/29, 11/5,

11/12, 11/19

冬学期 12/3, 12/10, 12/17, 2020/1/7, 1/14, 1/21,
1/28, 2/4, 2/18, 2/25

料金:各期 80,000 円(税別) 年間受講 192,000 円(税別)

定員:20 名

コース No. 191-11 基本図書講読

講師:中村有希

単位:1 単位 (0.5 単位×2 期)

コース目標:

基本図書の講読により、精神分析と精神分析的な心理療法の理論と技法体系の基礎を学ぶ。

コース内容:

精神分析と精神分析的な心理療法の理論と技法の体系を基礎から積み上げていくために役立つ基本図書を講読する。オリジナルな図書に触れるため、主に英語図書を講読する。受講者で分担して和訳し、持ち寄って学ぶ。

前期(4月~8月): Frieda Fromm-Reichmann の著書、“Principle of Intensive Psychotherapy”

後期(10月~3月): Michael Nichols and Thomas Paolino, Jr. が編著の “Basic Techniques of Psychodynamic Psychotherapy”

※ 講読する書籍は各自購入していただきます。

※ 『現代心理療法入門』 p. 298-299 にその他リーディングリストが記載されているのでご参照ください。

受講資格:大学院生の参加可。前期のみ、後期のみの参加可。

対象:どのような専門書から読み始めたらいいかお困りの方、基本図書をしっかり読む時間を取りたい方、改めて実践と理論と技法を整理したい方にお勧めです。

日程:第4土曜 13:00-15:00 全10回(5回×2期)

前期:4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 8/31

後期:10/26, 11/30, 2020/1/25, 2/22, 3/28

料金:年間 80,000 円(税別) 半期 40,000 円(税別)

定員:10 名

コース No. 191-12

ハイリスク・ケア困難患者・家族への力動的セルフケアプログラム

講師:宇佐美しおり

単位:なし

コース目標:

悪性腫瘍や代謝性疾患、心疾患、脳血管疾患、精神疾患など慢性疾患患者並びに重複疾患のハイリスク患者、怒りや不安が強く入院・行動化を繰り返すケア困難患者・家族に関し、

PAS 理論(精神分析的システムズ理論)を用いた力動的な理解とセルフケアモデルの展開技法を、事例ならびにプロセスレコードを用いて検討を行う。

コース内容:

講義・事例検討による看護方針の明確化・プロセスレコードを用いた看護介入技法の検討

1 回目:衝動・欲求・セルフケアの意図的過程への介入技法

2 回目:怒り・不信感の強い患者への看護介入技法

3 回目:強迫性の強い患者への看護介入技法

4 回目:引きこもりの強い患者への看護介入技法

5 回目:患者一家族間の関係が悪い患者への看護介入技法

6 回目:依存が強くセルフケアが展開できない患者への看護介入技法

7 回目:虐待、トラウマの強い患者・家族・スタッフへの看護介入技法

8 回目:隔離・拘束がとれない患者への看護介入技法

9 回目:退院意欲・地域生活の意欲のない患者への看護介入技法

10 回目:多忙で業務しかできない病棟・部署の力動的アセスメントと教育的介入・教育プログラムの計画

受講資格:看護師経験3年以上、認定看護師・専門看護師(CNS)・高度実践看護師(APN)、看護管理者、看護系大学教員、看護系大学院生/CNS/APN をめざす看護師

対象:自分の受け持ち患者、部下・同僚・スタッフ・学生への関わり方、セルフケアモデルを学びたい方、セルフケアモデルの教育に携わっている方、CNS や APN をめざす方々、実践能力改善・向上のためにスーパービジョンを受けたい方に特に勧める。

日程:第4土曜 13:00-15:00 全8回(11月は第5週)

4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 10/26, 11/30, 2020/1/25, 2/22

料金:64,000 円(税別)

定員:5 名

コース No. 191-13

組織における役割開発とリーダーシップ、スタッフ教育技法

講師:宇佐美しおり

単位:なし

コース目標:組織や部署のアセスメントと自分の役割、役割の開発方法について修得する。また組織におけるリーダーシップの展開、スタッフの教育技法について修得する。講義と事例検討を通じて行う。

コース内容:講義形式

1 回目:組織のアセスメントと自分の役割・機能

2 回目:集団のアセスメントとリーダーシップ

3 回目:スタッフ能力・チームのアセスメント

4 回目:リーダーシップとマネジメント

5 回目:臨床能力に応じた教育技法

- 6 回目：スタッフ教育：コーチング
- 7 回目：スタッフ教育：コンサルテーション
- 8 回目：スタッフ教育：グループ・コンサルテーション
- 9 回目：スタッフ教育：シミュレーション、ロールプレイ
- 10 回目：まとめ

受講資格：看護師経験 3 年以上、認定看護師・専門看護師 (CNS)・高度実践看護師 (APN)、看護管理者、看護系大学院生も可。

対象：組織や部署のアセスメント、組織・部署におけるリーダーシップとマネジメントの展開、臨床能力に応じたスタッフ教育の技法について修得する。看護職の臨床能力の改善、自分の役割開発に関心のある方に薦める。

日程：第 4 土曜 15:15-17:15 全 8 回（11 月は第 5 週）
4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 10/26, 11/30, 2020/1/25, 2/22

料金：64,000 円（税別）

定員：10 名

受講資格：看護師経験 3 年以上、認定看護師・専門看護師 (CNS)・高度実践看護師 (APN)、看護管理者、看護系大学院生も可。

対象：自分の受け持ち患者、部下・同僚・スタッフへの関わり方、疾患別・状態別セルフケアプログラムを学びたい方、退院促進や地域生活促進を効果的に展開したい方々に勧める。

日程：第 4 土曜 10:30-12:30 全 8 回（11 月は第 5 週）
4/27, 5/25, 6/22, 7/27, 10/26, 11/30, 2020/1/25, 2/22

料金：64,000 円（税別）

定員：10 名

コース No. 191-14

精神看護ベーシック—疾患・状態別セルフケアプログラム - 地域生活維持・促進—

講師：宇佐美しおり

単位：なし

コース目標：精神疾患、身体疾患・治療を契機にうつ・不安・適応障害をもつ患者、うつ状態・トラウマのある看護師に対し、オレム・アンダーウッドのセルフケアプログラムの展開方法について学び、患者の退院・地域生活の促進・定着を図るための方法論を修得する。

コース内容：講義形式

- 1 回目：精神状態・セルフケアのアセスメントとアセスメントツール
- 2 回目：精神の健康度、自我・人格機能の把握と査定と看護介入
- 3 回目：退院促進・地域生活定着促進のためのセルフケアプログラム
- 4 回目：不安をもつ患者へのセルフケアプログラム
- 5 回目：身体疾患・治療が急激に開始され怒り・不安の強い患者のセルフケアプログラム
- 6 回目：せん妄・軽度—中等度の認知症患者および家族へのセルフケアプログラム
- 7 回目：過飲水・過食・拒食患者へのセルフケアプログラム
- 8 回目：ターミナル・自己免疫性疾患患者へのセルフケアプログラム
- 9 回目：隔離拘束の減らし方、隔離拘束患者へのセルフケアプログラム
- 10 回目：多職種チームのアセスメントと介入技法、地域包括ケアの展開

コース No. 192-1

危機介入と組織開発

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

学校や病院、団体、企業組織において、危機は個人に起きると同時に組織に起きる。いじめやハラスメント対応が大きな事故や自殺を生み個人の破壊的な事態に至ってしまうときには、すでに遅い。エントロピイの法則に明らかなように、危機の事後対応は傷口を広げるばかりの結果を生む。危機は、その事態が起きたその場、報告があったその時、訴えがあったその時から始まる。この危機介入によって、いじめやハラスメントにより大抵の組織の混乱と破壊は防ぐことができる。いじめやハラスメントに加えて、学校・病院事故、企業における組織の失敗、そして災害発生にあたっては、個人と組織の両方への危機介入がなされなければならない。そして組織開発は、そのような危機介入の時こそが大きなチャンスになる。

本コースは、集団、組織への危機介入および組織開発の理論と実践手続きの基本を、実際の事例を通じて学び実践に活かせるようにすることが目標である。

コース内容：

1. 危機対応の力学と実践技術
2. 集団・組織の危機—崩壊力学と危機介入
3. 組織開発の力学と手順

参考書・テキスト：『ダイナミック・コーチング』
『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』

対象：危機管理者、臨床心理士、CNS、APN、看護管理職、校長、副校長等学校管理職、企業役職者、監督、コーチ

日程：第2土曜 13:00-15:00 全10回

4/13, 5/11, 6/8, 7/13, 9/14, 10/12, 11/9, 12/14,
2020/1/11, 2/8

※ 4/13 と 2/8 は特別プログラムとして「191-2 ーから学ぶ
カウンセリングとサイコセラピーへの道」との合同クラスと
なります。詳細は後日お知らせします。

料金：80,000 円（税別）

定員：20 名

コース No. 192-2

Freud 文献講読講座 第Ⅳ期

講師：能幸夫（ナビゲーター）・花井俊紀（アシスタント）

単位：1 単位

コース目標：

昨年度に引き続き、Freud の『メタサイコロジー諸論文』を読む。Freud の文献に直接あたることで、これら諸論文に描かれた世界の理解を深める。

コース内容：

1) 10 回の各回に以下の諸論文を読み込んでいく。

01. 快原理の彼岸（1920）
02. 集団心理学と自我分析 VII・IX（1921）
03. 嫉妬、パラノイア、同性愛に見られる若干の神経症的機制について（1922）
04. 「精神分析」と「リビド理論」II（1923）
05. 自我とエス（1923）
06. 神経症と精神病（1924）・神経症および精神病における現実喪失（1924）・フェティシズ（1927）
07. マゾヒズムの経済問題（1924）・「不思議のメモ帳」についての覚え書き（1925）・否定（1925）
08. 制止、症状、不安（1926）
09. 文化の中の居心地の悪さ VI・VII・VIII（1930）
10. 精神分析概説 第1章、2章、4章 第8章、9章（1938）

2) あらかじめ配布された諸論文を事前に読み、面白いと思った箇所を3か所用意する。

3) 仲間と積極的にディスカッションし、文献の理解を深める。

テキスト：フロイト全集

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）。

『Freud 文献講読講座 第Ⅲ期：メタサイコロジー諸論文 第Ⅰ期』（2018 年度）に参加しなかった者には随時、資料などで補う予定。

日程：第4木曜 19:30-21:00 全10回

4/25, 5/23, 6/27, 7/25, 9/26, 10/24, 11/28, 12/26,
2020/1/23, 2/27

料金：60,000 円（税別）

定員：5 名内外

コース No. 192-3

SET トレーナー養成講座 アドバンスコース

講師：中村有希

単位：なし

コース目標：

- 1) 基礎コースで学んだ SET の基本技法と基本介入技術の熟達
- 2) 訓練プログラムを自ら構成できるようになる
- 3) メンバーのアセスメントに基づいて訓練を進行できるようになる

コース内容：

本講座は SET のトレーナーを目指すコースで、アドバンスコースは、基礎コースを受講し資格を取得した者が、メイントレーナーとして 1 人で訓練を実践できる資格を取得するためのコースである。講義＋実践演習形式で進める。

受講資格：『SET トレーナー養成講座 ベーシックコース』を受講し、コ・トレーナー資格試験に合格した者。

日程：第 3 土曜 10:30-12:30 全 10 回

4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21,
2020/2/15, 3/21

料金：80,000 円 (税別)

定員：6 名

コース No. 192-4

Story Making Group ファシリテーター養成講座

講師：花井 俊紀

単位：1 単位

Story Making Group (SMG) とは：

SMG は、PAS 心理教育研究所で開発された小集団精神療法技法である。グループで一つの物語を作るという活動とその体験の振り返りにより、自我の活性化、自己の安定化、心理学的心性の活性化を可能にする技法である。災害等のトラウマ予防・困難患者の心理療法準備・子どもや青年の心理教育や活動療法、精神科デイケアの活動、心を育てる学級活動、チームワークを育てる企業研修、などに役立てることが可能である。

SMG は受ける人の安全のため、所定のトレーニングを受け、資格を取得した者が実施することができる。以下の順に資格取得が可能である。

- 1 : SMG ファシリテーター : SMG を心理教育的に実施することができる。
- 2 : SMG コ・リーダー : SMG を臨床的に他の SMG セラピストと共同で実施することができる。

- 3 : SMG リーダー・トレーナー : SMG を独立して臨床的に実施でき、SMG 実施者のトレーニングを行なうことができる。

コース目標：

Story Making Group (SMG) を、ファシリテーターとして心理教育を目的に実施するための理論・態度・技術を学ぶ。必要単位取得後、試験に合格することで SMG ファシリテーター資格を取得することができる。

コース内容：

本講座は、SMG を学び、実践できるようになるための第一段階として、心理教育を目的に SMG を実施するための理論・態度・技術を学び、資格を取得するための講座である。講座を通して、1) 理論講義：心理教育・心理学的心性・個人の発達と集団の意味・自我機能と自己の理論、2) 技術演習：SMG 実施のためのグループ設計と SMG 実施手順、を学び、身に付けることができる。

講座形式は、理論講義 (2 時間) + 技術演習 (2 時間)。

※ PAS の講座の取得単位とは別に SMG トレーニングの単位を設定している。ファシリテーター資格取得には、本講座による理論講義および技術演習の各 5 単位の他、SMG メンバー体験 5 単位 (5 セッション) を取得後、修了試験に合格することが必要である。SMG メンバー体験は、2019 年 6 月もしくは 2020 年 2 月に実施予定の SMG アイデンティティ・グループどちらか一方に参加することで単位要件を満たすことが可能である (別途申込のこと)。

受講資格：

SMG トレーナー資格を有するセラピストが実施した SMG をメンバーとして 3 セッション以上体験していること。(SMG 体験をしたことがない場合は、① 2019/1/13 (日) -14 (月・祝) に実施される「SMG アイデンティティ・グループ」、または、② 2019/1/26 (土)、2/23 (土)、3/23 (土) (いずれも 15:30-17:30) に開催予定の「SMG 体験スタートパック」のいずれかに参加することで受講資格を満たすことが可能である。詳細は講師に問い合わせのこと)。

対象：学校教育・学生相談・精神医療・デイケア・福祉・療育・企業研修などの分野で働く人。特に、日常の業務で使うことのできる、具体的な技術を身に着けたい方。

日程：第 2 土曜 13:00-17:15 全 5 回

5/11, 7/13, 8/10, 9/14, 10/12

料金：80,000 円 (税別)

定員：8 名

コース No. 192-5

Story Making Group コ・リーダー養成講座

講師：花井 俊紀

単位：1 単位

コース目標：

Story Making Group (SMG) を臨床的に他の SMG セラピストと共同で実施することができる実践力を身につけるために、SMG に関する理論・態度・技術を学ぶ。必要単位を取得後、試験に合格することで SMG コ・リーダー資格を取得することができる。

コース内容：

本講座は、SMG トレーニング 3 年プログラムの 2 年目プログラムである。主訴や求めがはっきりせず、すぐにカウンセリング・心理療法が始められない人びとへのプレセラピイ処方として、語るに語れぬトラウマを抱える人びとへの PTSD 予防と治療準備処方として、自分自身のアイデンティティを探求する人びとへのアイデンティティ・グループ処方として臨床実践を行うための細かな理論と技術を身につけることが可能である。

以下が、本講座で取り扱う理論と SMG 技術の項目である。

自我のフィードバック機能と DER ソフト/モザイクメトリックス/大きい自己と小さい自己/集団力動/自我と自己の相互作用/ SMG の治療計画/トラウマ対応 SMG /対象ごとの適用法

講座形式:理論講義(2時間)+技術演習(2時間)を10回。

※ SMG リーダー・トレーナー資格の取得については、規定に基づき、この講座の他に、SMG メンバー体験 10 単位を取得し、卒業試験を合格することが求められる。SMG メンバー体験は、2019 年 6 月および 2020 年 2 月に実施予定の SMG アイデンティティ・グループに参加することで単位要件を満たすことが可能である(各回 7 単位取得可能・別途申込のこと)。

受講資格：SMG ファシリテーター資格を取得していること。

対象：SMG を臨床現場で活用する人。職種は問わない。

日程：第 3 土曜 13:00-17:15 全 10 回
4/20, 5/18, 6/15, 7/20, 9/21, 10/19, 11/16, 12/21,
2020/2/15, 3/21

料金：160,000 円(税別)

定員：5 名

コース No. 192-6

Story Making Group リーダー・トレーナー養成講座

講師：花井 俊紀

単位：1 単位

コース目標：

Story Making Group (SMG) を、独立して臨床実践できる実践力と、SMG 実践者のトレーニングを実施することのできる指導力を身につけるために、SMG に関する理論・態度・技術を学ぶ。必要単位を取得後、試験に合格することで SMG リーダー・トレーナー資格を取得することができる。

コース内容：

本講座は、SMG トレーニング 3 年プログラムの最終年プログラムである。本講座を通して、1) SMG を独立して臨床的に実施する理論と技術、2) SMG 実践者のトレーニングを実施する手順・教授法、を身につけることが可能である。1) については、アセスメントとケースフォーミュレーション・グループ設計・グループ発達・リーダーシップを学ぶ。2) については SMG ファシリテーター講座のコ・トレーナーを務める形で実習を行う。

講座形式：理論講義(2時間)10回 + 技術演習(2時間)を5回。

※ SMG リーダー・トレーナー資格の取得については、規定に基づき、この講座の他に、SMG 体験 5 単位、および SV を受けながらの SMG 実践 10 単位を取得し、卒業試験を合格することが求められる。

受講資格：SMG コ・リーダー資格を取得していること。

対象：SMG を臨床現場で活用する人。職種は問わない。

日程：第 2 土曜 13:00-17:15 (第 8 回は 13:00-15:00)
全 8 回

4/13, 5/11, 7/13, 8/10, 9/14, 10/12, 12/14, 2020/1/11

料金：120,000 円(税別)

定員：5 名

コース No. 19-1

集団精神療法集中演習

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

精神分析的集団精神療法 (PAS 集団精神療法) のスキルアップを目的とする。

コース内容：

集団精神療法を単独でデザインから成果を出すまでの実践を行うことができるよう、各受講者の集団精神療法技法の課題を提示し、課題達成を図る演習を行う。

受講資格：集団精神療法実施経験あるいは集団精神療法体験 (体験、訓練グループ等) のある臨床家

対象：臨床心理士、医師、CNS、教師、ソーシャルワーカー

日程：2019/8/3, 2020/1/18 10:00-17:00

料金：20,000 円 (税別) / 1 回

定員：14 名

コース No. 19-2

PAS 技法集中演習

講師：小谷英文

単位：1 単位

コース目標：

PAS 面接法のスキルアップを目的とする。

コース内容：

PAS 面接開始—展開—アセスメントの組み立てと面接技術の実技演習をインシデントロールプレイ法によって集中的に行う。

受講資格：テキスト『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる—』を熟読のうえ、課題を特定している臨床家

対象：臨床心理士、医師、CNS、教師、カウンセラー

日程：2020/2/29 10:00-17:00

料金：20,000 円 (税別) / 1 回

定員：20 名

コース No. 19-3

不安相談 1 日ワークショップ

講師：小谷英文 他 トレーナー

単位：なし

コース目標・内容：

グローバル化した国際社会は揺れ、政府の政策に先行きは不透明、教育機能は家庭だけでなく学校にも及んで脆弱化している社会の現状がある。個人の不安要因は一昔前からすると何倍にも増え、個人にかかる責任が重くなる一方である。しかし不安を意識することは逆の社会展開があり、不安を感じないように菓を飲み、SNS の大衆的絆に頼り、集団—社会心理の内に個を隠し、不安を縁遠くするネットワークカルチャーに人々は浸りつつある。

不安は、触れないものとして生理的、薬理的対処のみにしておくと、精神機能に対処能力が育たないばかりか不安の反応物が塵のように積もり鉛のように重くなって、うつ病や引きこもりを慢性化させ自死の誘発に耐える力を奪ってしまう。

逆に不安は、起きる瞬間瞬間に対応するなら、心の機能を俊敏に豊かに遅くするだけでなく、より高いパフォーマンスを上げる集中力や創造性を高める機動力を生むものに行うことができる。

不安相談は、この瞬間瞬間の不安と付き合い、そこに集中力と創造性を活性化させることに特化した心理処方を展開するものである。鍛錬することによる自己治療も可能であり、対人援助、教育指導、コーチング、そして心理療法の特定技法としても基本効果を期待できるものである。

本集中ワークショップは、自己治療を出発として不安相談の基本と基礎技術を身に付けるものである。このワークショップを重ね、理論を技術化することによって、実践のコーチング、教育、心理処方に生かすことができ、子育て、あるいは企業における人材開発に有効活用ができる。

対象：カウンセラー／サイコセラピスト

高等専門看護師 (CNS / APN)

教師／スクールカウンセラー／親

メンタルコーチ

日程：2019/9/7, 2020/3/7 10:00- 18:00

料金：20,000 円 / 1 回 (税別)

定員：40 名

コース No. 19-4

応答構成入門—共感的理解のための実践演習

講師：能幸夫 他

単位：0.25 単位（1 回）

コース目標：

応答構成を通して、共感的理解の本質を学ぶ。

コース内容：

基礎講座「対人援助職のための応答構成法」に部分参加し、応答構成法を試してみるワークショップ。

応答構成法に関しては、「対人援助職のための応答構成法」を参照のこと。

応答構成法において、臨床家としての自分の「考えと認知」(P)、「気持ちや感情」(E)、「行動」(A) と、クライアントの「考えと認知」(P)、「気持ちや感情」(E)、「行動」(A) を識別することと、その上で、自分の捉えたクライアントの体験についての理解をクライアントに伝えていくことが共感的理解の基礎となる。応答構成法を通じて、この共感的理解の本質を体験的に理解していく。

テキスト：

『心理面接—安全空間創成の面接法—』第 1 章、第 8 章（配布）

対象：現任臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカーなどの対人援助専門職）および臨床家を目指す大学院生。

サイコセラピー応答構成抜粋を用いるが、心理療法を行っている、いないに関わらず、参加は可能。特に、現時点で行っていないが、心理療法に関心がある人は歓迎する。

日程：奇数月 第 2 日曜 9:30-17:15

5/12, 7/7, 9/8, 11/10, 2020/1/12

1 回のみ参加、複数回の参加も可。

料金：15,000 円（税別）

定員：若干名

コース No. 19-5

インテーク面接入門ワークショップ

講師：能幸夫・花井俊紀

単位：0.25 単位

コース目標：

インテーク面接の組み立ての基本として、First Contact から初期目標構成に基づいた最初の仮契約の成立までの基本力動と介入技法の基礎を学ぶ。

コース内容：

講義とロールプレイ演習を通じて、

1) インテーク面接の理論と技法について習熟する。

2) 臨床的態度の本質をつかむ

テキスト：

『ガイダンスとカウンセリング』

『精神分析的システムズ心理療法—人は変わる』

『PAS セルフケアセラピー』

対象：現任の臨床家（臨床心理士、公認心理師、医師、看護師、ソーシャルワーカー、作業療法士など）および関心のある大学院生（臨床心理など）。

初心からベテランまで。特に、現場に出たばかりの初心の専門家を歓迎する。

日程：2019/7/21 9:30-16:30

料金：15,000 円（税別）

定員：8 名内外

コース No. 19-6

Story Making Group 体験スタートパック

講師：花井俊紀

単位：なし

コース目標：

Story Making Group (SMG) トレーニングを始めるために、SMG を自ら体験すること。本ワークショップに全参加することで、SMG トレーニングを始めるために必要な体験 3 単位を取得することができる。

コース内容：

SMG セッション 90 分を実際に体験し、SMG の面白さと効果・原理を体験から学ぶためのプログラムである。(SMG については、専門講座 Story Making Group ファシリテーター養成講座の説明を参照のこと)。各回、90 分の SMG 体験の後、30 分の振り返りセッションで、SMG 体験を振り返り、体験したことの意味、SMG 装置の意味などをディスカッションする。また必要に応じて講師のミニ講義も行われる。

対象：集団精神療法の手法に関心のある方、学生相談・教育相談、病棟・デイケア・学級・企業研修で使える“心を育てる手法”に関心のある方、Story Making Group を体験してみたい方

日程：土曜 15:30-17:30 全 3 回（全日程参加）

2020/1/25, 2/8, 2/22

料金：24,000 円（税別）

定員：5 名まで

◆その他の開講予定ワークショップについては、今後、ホームページおよびチラシにて随時お知らせいたします。

2019 年度開講講座 スケジュール表

週	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜
第 1 週	19:00-21:00 190-1 心理療法過程論	19:00-21:00 191-10 青年期臨床セミナー			14:00-21:00 プロフェッショナルスクール 本科課程
第 2 週	19:00-21:00 190-2 人格発達理論	19:00-21:00 191-10 青年期臨床セミナー		19:00-21:00 191-4 心理面接法ロール プレイ演習 II：介入分析 法 19:30-21:00 191-7 インテーク面接と はじめの見立て	14:00-21:00 プロフェッショナルスクール 本科課程
第 3 週	19:00-21:00 190-3 精神分析的システムズ心理療法基礎 19:00-21:00 191-5 アセスメント実習	19:00-21:00 191-10 青年期臨床セミナー			14:00-21:00 プロフェッショナルスクール 本科課程
第 4 週	19:00-21:00 190-1 心理療法過程論 I・II・III 19:00-21:00 191-6 アセスメント面接 技法	19:00-21:00 191-10 青年期臨床セミナー	19:00-21:00 カウンセリング・ゼミ	19:00-21:00 191-3 心理面接法ロール プレイ演習 I：力動的面接法の基礎 19:30-21:00 192-2 Freud 文献購読講座	14:00-21:00 プロフェッショナルスクール 本科課程

土曜			
週	第 1 時限 10:30-12:30	第 2 時限 13:00-15:00	第 3 時限 15:15-17:15
第 1 週			
第 2 週	191-1 不安相談：心理面接の基本技法	192-1 危機介入と組織開発	191-2 一から学ぶ - カウンセリングとサイコセラピーへの道
		192-4 Story Making Group ファシリテーター養成講座	
		192-6 Story Making Group リーダー・トレーナー養成講座	
第 3 週	192-3 SET トレーナー養成講座アドバンスコース		191-9 病院心理面接法
		192-5 Story Making Group コ・リーダー養成講座	
第 4 週	191-14 精神看護ベーシック	191-11 基本図書講読	191-13 組織における役割開発とリーダーシップ、 スタッフ教育技法
		191-12 ハイリスク・ケア困難患者・家族への力動的セルフケアプログラム	

4. スーパーヴィジョン

心理臨床に関わる理論は高度に抽象化されており、理論と技法とのつながりを実践的につかむことは容易ではありません。理論・技法を学んでも、それらの理論が現実場面でどのように現れるのか、学んだ技法を実践の中でどう現実化していくのかを知らなければ、学んだ理論・技法を使うことはできません。当センターのスーパーヴィジョンでは、理論・技法を実践に落とししていく作法と技術、態度を、専門家として厳しく追求していくための機会を提供します。

当研究所では、以下に関わるスーパーヴィジョンを受け付けております。

- ・ カウンセリング
- ・ 心理療法
- ・ 集団精神療法
- ・ プレイセラピー
- ・ アセスメント
- ・ 学級経営
- ・ 災害支援
- ・ ワークショップ
- ・ コンサルテーション

○対象：臨床心理士、教師、看護師、医師、ソーシャルワーカーなど

○料金：45分 10,000円～（個人・税別） 30分 5,000円～（個人・税別）

* 頻度をご相談ください。

スーパーヴィジョンには、個人で受ける個人スーパーヴィジョンと、専門家が集まって共に受ける集団スーパーヴィジョンがあります。当センターでは集団スーパーヴィジョンも受け付けております。スーパーヴィジョンをご希望の方は、お気軽にお問い合わせください。

5. 教育分析

1978年、私は著名な H. Greenbaum 先生に教育分析 (training analysis) を受けたいとお願ひしました。

先生の応えは、

「教育分析とは何ですか？ 私はアナリストやセラピストの分析・心理療法はやっていますが、それでは不都合なのですか？」

でした。ニューヨーク大学ベルビュー病院での、いきなりの分析体験でした。

当研究所の個人心理療法・集団精神療法による教育分析は、心理療法家・カウンセラーの成熟性を旨とする心理療法です。

PAS 心理教育研究所 理事長 小谷 英文

当センターの教育分析には、個人で受ける個人教育分析と、専門家が集まって共に受ける集団精神療法やアイデンティティ・グループがあります。

(1) 個人教育分析

受講資格・対象：臨床心理士有資格者、対人援助専門職の方

料金：10,800円／1回 45分～

(2) 集団教育分析

○男性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文

日程：第1・2・3木曜 16:40-17:55

料金：10,800円／月

○女性のためのアイデンティティ・グループ

セラピスト：小谷英文

日程：第1・2・3木曜 18:00-19:15

料金：10,800円／月（税別）

○教育分析（グループ）

セラピスト：小谷英文

日程：第1・3木曜 19:30-21:00

対象：臨床経験10年以上の男女

料金：21,600円/月

（3）オーブンプログラム

○不安相談グループ

セラピスト：小谷英文

日程：第2月曜 19:00-21:00（全9回）

4/8, 5/13, 6/10, 7/8, 9/9, 11/11, 12/9, 2020/2/10, 3/9

対象：不安対処能力を身につけたい青年～大人

特定専門処方としての「不安相談」をできるようになりたい専門家
（臨床家、教育分野の方など）

料金：一般 45,000円（税抜）（年間）

専門 54,000円（税抜）（年間）

定員：10名

6. ライフサイクル アイデンティティ・グループ

集団精神療法の手法を応用した心理教育プログラムです。5名～8名の小集団の中で、グループセラピストと共にアイデンティティの探求を行います。自分に対する不満・関心を基点に、より自分らしさを広げ、深めていきます。

ライフサイクルと言われる人生の年輪を重ねる中で、我々は昇進・転職で仕事上の新たな責任を受け、結婚や離婚を経験し、いつしか自分が親となり、両親の死を迎えたりなど、様々な節目を迎えます。臨床家としても、一人の人としても、人生の分岐点に立つときこそ、苦しいものの新たな可能性にも出会うダイナミックな人生の営みを実感できるものです。生きてきた道のを「愛」で、そして自分自身に対する「信頼」をもって、現在の自分の軸を確かなものとし、未来を創る活力を得るためのグループです。

(1) 臨床家アイデンティティ・グループ

日本における心理療法専門家の訓練において、もっとも手薄なのが教育分析であるともいわれる。臨床家のためのライフサイクルアイデンティティ・グループは、臨床家というアイデンティティを軸に、自らの心の世界を探求し、臨床家としての自分のアイデンティティを確かなものにしていく教育分析的な効果を持つプログラムである。

初心のときの自分、少し臨床がわかりかけてきたときの自分、中堅からベテランといわれるようになったときの自分、臨床家もその専門家としての育ちの中で、さまざまな自分と出会うことになる。

スモールグループという多面鏡の中に自分を置いて、自らの取り組みによって仲間に刺激を与え、仲間の取り組みに刺激を受けつつ、立体的な自分の臨床家としてのアイデンティティを検討していこう。クライアントの心の世界の探求という未知の世界に立つ自分を、この機会に自分自身の心の探求を通して、たくましくしていこう。

これまでの経験から、2日間×3回で、かなりまとまった作業が可能となる。3回パック参加が可能であれば、それが最も効果的ではあるが、1回の参加も歓迎する。仲間とともに、自分を検討する豊かな機会を活用しよう。

○セラピスト：能幸夫 他

○目標：2日間、7セッションのスモールグループを通して、臨床家としての自分のアイデンティティを確かめ、探求し、ありたい臨床家像を追求する。

○対象：初心から、中堅・ベテランまで、現任の臨床家（臨床心理士、医師、看護師、ソーシャルワーカーなど、対人援助の臨床家）を対象とする。

○日程：第1回：2019/6/1（土）-6/2（日）
第2回：2019/10/5（土）-10/6（日）
第3回：2020/2/1（土）-2/2（日）
土曜 9:50-17:00 日曜 10:00-13:40

○料金：1回参加 30,000円（税別） 3回パック 80,000円（税別）

○定員：5名内外

(2) 一般アイデンティティ・グループ

「ライフサイクル」という人生の年輪を重ねる中で、我々は恋をしたり、進学、就職で新たな生活を始めたり、昇進、転職で仕事上の責任を持ち、結婚に喜び、離婚に泣いて、いつしか自分が親となり、両親の死を迎えたり等、様々な節目を迎えます。人生の分岐点に立つときにこそ、苦しいけれども新たな可能性にも出合うダイナミックな自分の人生の営みを実感できるものです。生きてきた道のりを愛で、そして自分に対する信頼をもって、現在の自分の軸を確かなものにし、未来を創る覇気を得ましょう。

○セラピスト：中村有希 他

○目標：5名から7名の参加者の中で、1)現在の自分の軸となる信念や求めを確かめ、2)協力的に働く能力を磨き、3)自分を並び、4)生きる活力を増し、自分への信頼を高める。

○対象：19歳以上の男女。(大学生、専門学校生、就活生、浪人生、大学院生、新入社員、昇進したばかりの企業人、社長、生徒指導に熱心な教師、教頭、校長、芸術家、アスリート、結婚を考えている男女、新婚夫婦、熟年夫婦 等々)

○日程：第1回：2019/6/1(土)-6/2(日)
第2回：2019/10/5(土)-10/6(日)
第3回：2020/2/1(土)-2/2(日)
土曜 9:50-17:00 日曜 10:00-13:40

○料金：1回参加 大人 30,000円(税別) 学生 20,000円(税別)
3回パック 大人 80,000円(税別) 学生 50,000円(税別)

○定員：5名内外

(3) SMG アイデンティティ・グループ

SMG (Story Making Group) アイデンティティ・グループは、物語作りという創造活動とグループ作業を通して、自分らしさ(アイデンティティ)を発見し、太くしていくためのグループ・プログラムです。メンバーひとりひとりが物語を作り、それを元にグループで一つの大きな物語を作るという創造活動を行います。

物語に自分の心の世界とエネルギーを表現し、味わってみよう。どんな自分が見えてくるでしょうか。回を重ねるごとに、より自分らしい物語を書いてみよう。いつもの馴染みのある自分と、いつもとは違う一回り大きな自分が見えてくるでしょう。その両方を「これが私だ」と思えたときに、我々のアイデンティティは太くなります。

2日間思い切り汗をかいて、自分らしさを探してみよう。

○セラピスト：花井俊紀

○目標：1)自分の中にある色々な物語に触れ、自分を広げること、2)他者と協働する力を活性化すること、3)自分に対する愛情を活性化すること、4)ありがたい自分の姿を明確にすること。

○対象：高校生以上の男女

○日程：第1回 2019/6/1(土) - 6/2(日)
第2回 2020/2/1(土) - 2/2(日)
土曜 10:00-17:30 日曜 9:00-13:30

○料金：20,000円(税別) / 1回

○定員：5名

7. 臨床心理士資格取得のための実習：第二種指定校

臨床心理士資格取得のための実習機関として、必要な実習を提供いたします。臨床実践の場にチームの一員として参加し、その体験を通じて研修することが可能です。講師の指導のもと、自己課題を明確化し、それに最適な訓練プログラムを組み、訓練を積んで頂けます。

○実習内容：相談受付業務の一部を指導のもと行う

インテークの基礎となる理論学習

演習に必要な講座への参加観察

インテーク面接の観察

スーパーヴィジョンの陪席 など

○受講資格・対象：臨床心理士指定大学院第二種指定校卒業以上の者。

ソーシャルワーカー、看護師、医学生の臨床研修としても可。

○受講料：10,800円／1ヶ月（週1回4時間）～ 頻度に応じて変動

○定員：年間4名

講師紹介

ファカルティ

小谷 英文

理事長・トレーニングスーパーバイザー
卒後研修センター センター長

現職：国際基督教大学 名誉教授

学位：博士（心理学） 広島大学大学院

資格：臨床心理士・全米集団精神療法学会公認集団精神療法師（Certified Group Psychotherapist）

主な職歴：広島大学総合科学部助手

広島市民病院神経科サイコロジスト
アデルファイ大学（N.Y.）ダーナー高等研究所客員教授
広島大学保健管理センターチーフサイコロジスト、助教授
国際基督教大学教授
国際基督教大学高等臨床心理学研究所所長



能 幸夫

所長
本科 科長

現職：PAS 心理教育研究所所長／湘南病院相談室室長

学位：学士（教養） 国際基督教大学

資格：公認心理師・臨床心理士・精神保健福祉士

専門訓練：東京心理臨床システムズ研究所（TIPS）精神分析的な心理療法コース本科修了（2年間）
同 精神分析的な心理療法コース専攻科修了（1年間）



橋本 和典

理事

現職：立教大学現代心理学部特任准教授
東京大学駒場学生相談所 非常勤講師

学位：博士（教育学） 国際基督教大学大学院教育学研究科

修士（教育学） 東京大学大学院教育学研究科

資格：公認心理師・臨床心理士・全米集団精神療法学会公認集団精神療法師（Certified Group Psychotherapist）

専門訓練：PAS 心理教育研究所プロフェッショナルスクール SE カウンセリングコース修了（2年間）

同 精神分析的な心理療法コース本科課程修了（3年間）

同 専攻科課程修了（2年間）



講師

中村 有希

クリニカルディレクター・常勤セラピスト
(東京医科大学 非常勤講師)

資格：臨床心理士

専門訓練：PAS 心理教育研究所プロフェッショナルス
クール精神分析的な心理療法コース本科課程
修了 (3年間)
同 専攻科課程修了 (2年間)

高田 毅

研究員 (健康科学大学 専任講師)

資格：公認心理師・臨床心理士

専門訓練：PAS 心理教育研究所プロフェッショナルス
クール精神分析的な心理療法コース本科課程
修了 (3年間)

花井 俊紀

非常勤セラピスト (野の花カウンセリングオフィス
サイコセラピスト)

資格：公認心理師・臨床心理士

専門訓練：PAS 心理教育研究所プロフェッショナルス
クール精神分析的な心理療法コース本科課程
修了 (3年間)
同 専攻科課程修了 (2年間)

吉田 愛

常勤セラピスト・事務主任

資格：臨床心理士

専門訓練：PAS 心理教育研究所プロフェッショナルス
クール精神分析的な心理療法コース本科課程
修了 (3年間)
同 専攻科課程修了 (2年間)

Post-Doctoral 研究員

宇佐美 しおり

熊本大学大学院生命科学研究部 教授

資格：看護師／精神看護専門看護師

お申込方法

各コース・講座のお申込

同封の申込用紙に必要事項をご記入のうえ、PAS 心理教育研究所まで FAX・郵送・受付での手渡し、メール、いずれかの方法によってご提出ください。お申込頂きました後、受理通知をお送りいたします。申込書は、ホームページからもダウンロードできます。なお、お申込後 1 週間以内に返信がない場合、お手数ですが研究所までお電話下さい。

送り先：PAS 心理教育研究所

〒 153-0041 東京都目黒区駒場 2-8-9

TEL & FAX 03-6407-8201

HP: <http://pas-ins.com>

メール：pas@pas-ins.com

講座受講に関するコンサルテーション

ご自身に最適な講座・ワークショップを組み合わせでご受講いただくことで、より体系的な学習・訓練を積むことが可能です。当センターでは、学びたいことや困っている事に応じて、より最適な受講プランを練るためのコンサルテーションを提供しています（15分・無料）。複数受講に限らず、1コースのご受講からでも、お気軽にご相談下さい。また、分割払いなど、お支払いに関するご相談もお受けいたします。